



# 海老沼小だより

～ かしこく やさしく たくましく生き抜く子  
笑顔と歌声あふれる学校 ～

12月号

令和3年12月1日

さいたま市立海老沼小学校



ビオトープ前の夏みかん

## 動物園と博物館

校長 宮本 江津子

山では雪が降ったというニュースが届き、西の地平線に見える富士山も半分くらい雪化粧をした姿が見られました。空気が凜として、気持ちも引き締まります。すっかり冬がやってきました。いよいよ2学期も残すところあとわずかです。

寒い中の開催になるのではと心配していた運動発表会も、穏やかな晴天の中、無事に終えることができました。昨年は、1学年ずつの発表会でしたが、今年度は、2学年ずつ行い、異学年交流もできました。自分たちが発表するだけではなく、他の学年の演技や走りを見ることでそれぞれが相手のすばらしいところを発見し感動していました。そして、同じクラスを応援している姿（拍手で応援していました）は、微笑ましいものでした。保護者の皆様には、児童一人につき保護者お1人の参観とさせていただき、大変申し訳ございませんでした。ご協力いただきありがとうございます。密になる状況は、もうしばらく避けていきたいと考えております。今後とも、ご理解の程よろしくお願いいたします。

昨年と違うところでもう一つ、今年度は、それぞれの学年でバスに乗って校外学習に出かけています。修学旅行に続いて、1年生が東武動物公園へ、2年生が茨城県自然博物館へ、そして、明日、3年生が『見沼消防署』と『歴史と民俗の博物館』へ行きます。(4年生は、1月に、春日部市にある外郭放水路他を見学する予定です)1年生も2年生も、初めての校外学習です。うきうきわくわくした気持ちが伝わってきました。集団で公共の施設へ出かけることが2年間なかったので、最初は「大丈夫かしら・・・トイレに行って、もとの場所に戻って来られるかしら・・・グループ行動ができるかしら・・・。」と心配していましたが、子どもたちは大変たくましく、周りの様子を見て判断し行動することができていました。自分のペースで行動してしまうお友達に声をかけ、協力してグループ行動ができていました。1日でたくさんの経験を積み上げた子どもたちは、帰校してからの会で、その姿に成長が見られました。出かける時とは、聞く態度が全く違いました。すべての子どもたちが顔をあげ、私の目を見て、話を聞いていました。すばらしいです。全校児童が集まって朝会ができない中、話を聞く態度や姿勢はどうだろうか・・・という心配がずっとありました。6年生の修学旅行の時と同じように、1年生も2年生も、たった1日で大きく成長した姿を見ることができました。すばらしい1日になりました。そして、何よりも子どもたちのたくさんの笑顔を見ることができ、本当に幸せな気持ちになりました。大きな動物を目の前にして驚いている1年生、恐竜が動き叫ぶ声に感動し何度も見に行く2年生、その顔はキラキラ輝いていました。どんなに多くを語って指導しても、なかなか入りにくいことも、このような体験を通して身に付いていきます。社会の情勢を心配しながらも、実現できたことに、感謝の気持ちでいっぱいです。

これから続く校外学習も、子どもたちの成長を楽しみにしています。

先日、朝の読書タイムのことです。6年生のある教室を覗いてみると・・・担任の先生が読み聞かせをしていました。大きな体の6年生が、担任の先生の持つ絵本を見ながら、そのお話（読み聞かせ）に聞き入っていました。まだまだかわいいところもある6年生だなと思った瞬間でした。

卒業が近づいてきた6年生です。期待とともに、今はまだ不安もあると思います。学校でも子どもたちの心の様子を見守ってまいります。ご家庭でも、ご協力の程よろしくお願いいたします。